

県民の声を聞く まともな県政へ

あなたの
選択で

地域医療の
かなめ

4病院を守ろう



県の審議会で大半の委員が県立精神医療センターの移転に**反対**。
労災病院も「県の審議会の理解が(進める)絶対条件」と言明。

●8月の審議会では…

村井知事「公約を実現できなければ知事をやめる」「私を止められるのは県議会だけ」

名取市への民間の精神科病院誘致までいっだす…

日本共産党は4病院再編に一貫して反対。

9月県議会で「(知事の)公約よりも**患者さんの命を一番に考えることが大事**ではないか」「これ以上県政を混乱させることはやめるべきです」と指摘。

「県は住んでいる人を『モノ』のように扱っている…」

廃止をせず
住み続けられる

県営住宅に



●9月県議会で…

村井知事「(廃止)方針を出したので、しっかり説明させていただく」と廃止撤回を拒否。

日本共産党「応募倍率は3.1倍で需要はある。廃止はやめるべき」

県が「浴槽などの整備に60年かかる」ということに対し、「3.5億円、6～7年で可能」と提案。

知事の暴走ストップは 日本共産党をのばしてこそ

■自民・公明…村井県政の暴走を助長してきた責任は重大です。

■維新…大阪では市民病院を廃止、府営住宅は10年で1万戸廃止。



電気代、ガソリン代、
資材、エサ代…



“物価高騰、もう限界!” いまこそ直接支援を

9月5日
県に緊急
申し入れ

財政規模 1兆円

東北一の財政力を子育て、くらし、生業のために

電気代の県独自の補助制度を

「東北電、料金値上げ背景に過去最高益1400億円」(河北新報)。利用者に還元を!

●学校給食費無料化

—小中学校で約50億円

●医療、福祉、教育機関 光熱費などの補助※

—財源は約23億円

●LPガス料金へ補助※

—財源は約27億円

※は9月末で打ち切り予定。延長は待たなし。

3つの財源は年間約100億円
=県財政1%のやりくりです

●事業者の声にこたえ 生業への支援を

声

中小事業者「原材料や資材、電気料金等の高騰に、価格転嫁が追いつかない」

建設業者「資材高騰で、利益がとれない」

漁業者「燃料代の高騰と魚価の下落で利益がでない」

農家「肥料代が一袋 3000円から5800円に倍化」[猛暑で収穫減った。種も蒔けない]

- 小規模事業者、建設業者への独自支援を
- 燃油代に苦しむ漁業者への燃油補助を
- エサ代の高騰などに苦しむ畜産業者への支援を
- 肥料の高騰、猛暑の影響で苦しむ農家の支援を



日本共産党をのぼして
政治の流れを変えて
くらしも地域経済も元気に

インボイス中止、消費税減税を
5年で43兆円の大軍拡ノー
女川原発再稼働ストップ

海洋放出は中止を—— “別の道”の真剣な検討こそ

地下水の流入をとめる「広域遮水壁」、処理水を固める「モルタル固化」、より安全に保管する「大型タンク」——別の道はあります。約束やぶりの海洋放出はただちに中止を。

日本共産党 県議団を8人へ(現在5人)



仙台市青葉区
金田もとし 現



仙台市宮城野区
大内真理 現



仙台市若林区
福島かずえ 現



仙台市太白区
ふなやま由美 新



仙台市泉区
中嶋けん 元



石巻市・女川町
三浦一敏 現



塩釜市
天下みゆき 現



多賀城市・七ヶ浜町
藤原ますえい 新